

WHO発行、口腔診査法 第5版を日本語へ翻訳いたしました。

口腔診査法 第5版

—WHOによるグローバルスタンダード—

小川祐司 監訳、眞木吉信、宮崎秀夫、山本龍生 訳

WHOの口腔診査法マニュアルは、国際比較が可能となるよう、標準化された口腔保健調査が実施できるように作成されています。集められたデータは口腔疾患の重要性を定期的に評価し、歯科保健政策を推進するために活用されています。

第5版では、1997年に発行された第4版に代わり、新項目の追加と従来の診査法の変更などが行われています。主に歯周組織の状態の記録(CPI)、酸蝕・歯の外傷に関する記録項目をはじめ、基本的な記録票に加え、一般的な口腔症状を審査する記録票も追加されました。また、今回は口腔診査とは別に口腔保健に関する自己評価についても追加がなされ、リスクファクターに関する検討まで行うようになっております。

日本の多くの歯科保健関係者にぜひご活用いただきたい一冊です。



978-4-89605-316-6

CONTENTS

翻訳にあたって

序文

謝辞

はじめに

セクション① 臨床口腔診査の基本事項

第1章 口腔保健調査のデザイン

第2章 調査の準備

第3章 データの信頼性と妥当性

第4章 調査の実施

第5章 口腔健康状態の評価

セクション② 口腔保健の自己評価

第1章 口腔保健の自己評価とリスク

第2章 調査からサーベイランスへ

セクション③ WHOの支援

第1章 調査前の支援

第2章 調査後の支援

第3章 調査報告書の作成

References

別添1~10

●A5判／152ページ ●定価 本体1,800円+税 ●送料300円

一般財団法人 口腔保健協会